

授業改善推進プラン＜社会＞

- 1 指導目標
 - ・広い視野に立って、社会に対する関心を高め、諸資料に基づいて多面的・多角的に考えることができる力を養う。
 - ・我が国と世界の地理的な関係と世界の流れを背景にした我が国の歴史に対する理解を深め、公民としての基礎的教養を培うことによって、国際社会に生きる民主的、平和的な国家・社会の形成者として必要な公民的資質の基礎を養う。

- 2 平成25年度における考察と課題
 - ・板書を工夫し、効果的な色分けを心がけながら、しっかりとノートをとらせ、説明を聞かせることにより、基礎的な理解がすすみ、力は徐々に伸びてきている。
 - ・具体的な話やエピソードなど興味のわく話及びニュースも取り上げるなど、工夫しながら授業をすすめてきたため、社会的事象に対し、関心を持ち、考えるようになってきている。
 - ・視聴覚ソフト、補助教材も効果的に使いながら、角度を変えながら授業も行なってきた。ふだんの授業の話が生き、より印象に残るようになってきているようだ。
 - ・記述問題やグラフの作成、資料の読みとりを苦手とする生徒がいることが授業や定期考査から伺えるので読み取る機会を増やすなどの改善を図りたい。

- 3 平成26年度へ向けての改善のポイント
 - ・引き続き3分野で地図、年表、図や統計資料を頻繁に活用し、読み取る作業を増やし、表現する機会を増やし、資料活用能力の向上を目指す。
 - ・地理では、資料を活用し、調べさせることから、自ら問題を発見し、自ら考えさせる力を養うことを大切にしつつも、地理的な**基礎的内容の徹底を図っていく**。
 - ・歴史では、特に**近現代の動きをよく理解させ**、こうした過去の出来事の流れの上に現在があり、今の人たちと無関係ではないことを理解させる。そして、歴史を正しく理解することから、よりよい未来を築く姿勢を養っていく。
 - ・公民では、共生という観点から、**基本的人権と民主主義の大切さ、経済のしくみと日本が抱える問題を理解させ**、考えさせることで**現代社会の形成者としての自覚と責任を培う**。

- 4 評価の工夫

観点項目	観 点 項 目 の 趣 旨	お も な 評 価 内 容
社会的事象への関心・意欲・態度	さまざまな社会的事象に関心を持ち、意欲的に学習することができたか。	課題準備・提出状況など 授業での発言・活動など ノート・レポートなど
社会的な思考・判断	さまざまな社会的事象について、自分の考えを論理的にまとめることができたか。	授業での発言・活動など 発表・レポートなど 定期テスト・小テストなど
資料活用 of 技能・表現	資料を正確に読みとり、記録し、事実 に即して発表（表現）することができたか。	授業での発言・活動など ノート・発表・レポートなど 定期テスト・小テストなど
社会的事象についての知識・理解	学習した内容を整理し、基本的な知識 を身に付けることができたか。	定期テスト・小テストなど 授業での発言・活動など